

1. 成人の日行事をモデルとした実験のねらい

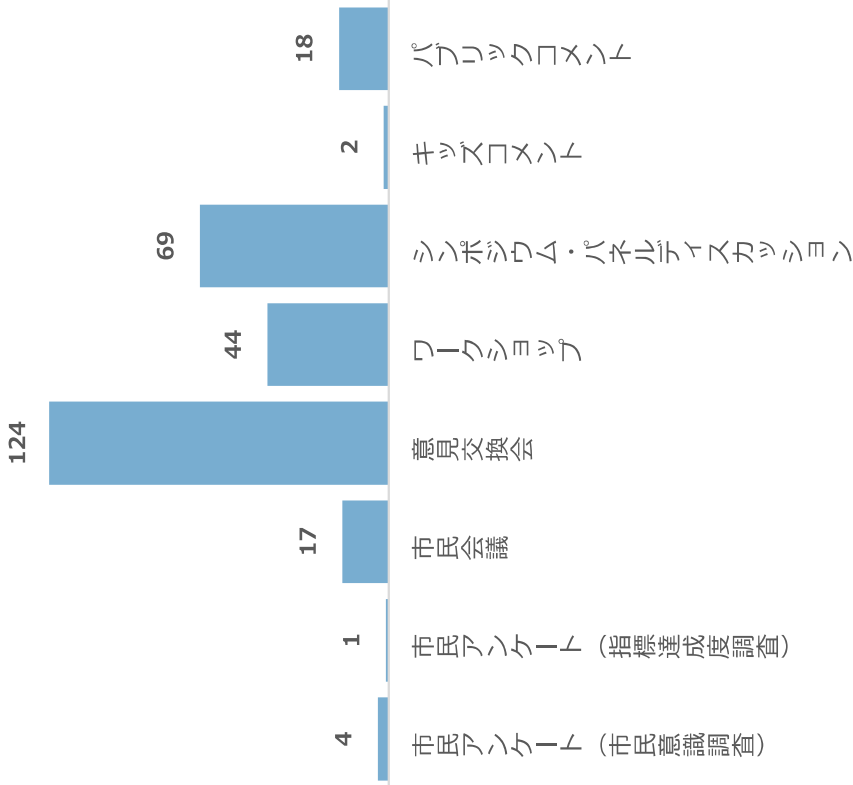
- 成人の日行事のあり方に関して、市民意向を把握した上で、市民とともに議論することで、一定の結論を導き出す
- 一連のプロセスの結果や用いた手法の効果を分析し、市民参加の仕組みづくりの検討に生かす



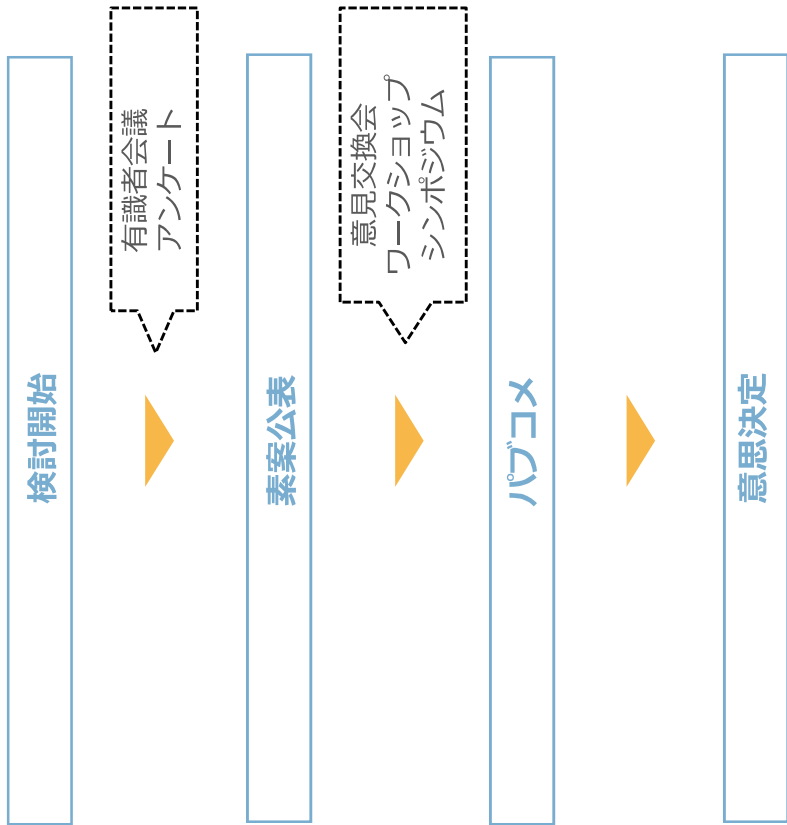
2. 現状の市民参加の手法について

- 市民参加の取組状況としては、意見交換会やシンポジウム・パネルディスカッションの実施件数が多く、**行政の提案に対し限られた市民が意見を述べる状況**
- 取組は、事案の性質、市民生活に与える影響、時間や費用、提案に対する市民の反応などを勘案し、**意思決定前に複数の手法から選択して併用することが基本**

市民参加の取組状況（H30～R4の年間実施件数の平均）



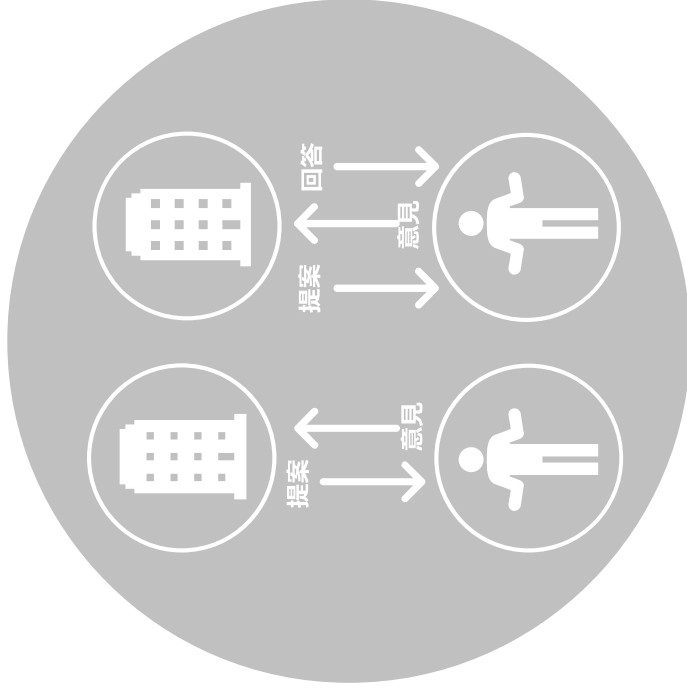
政策の企画・立案に係る一般的な進め方のイメージ



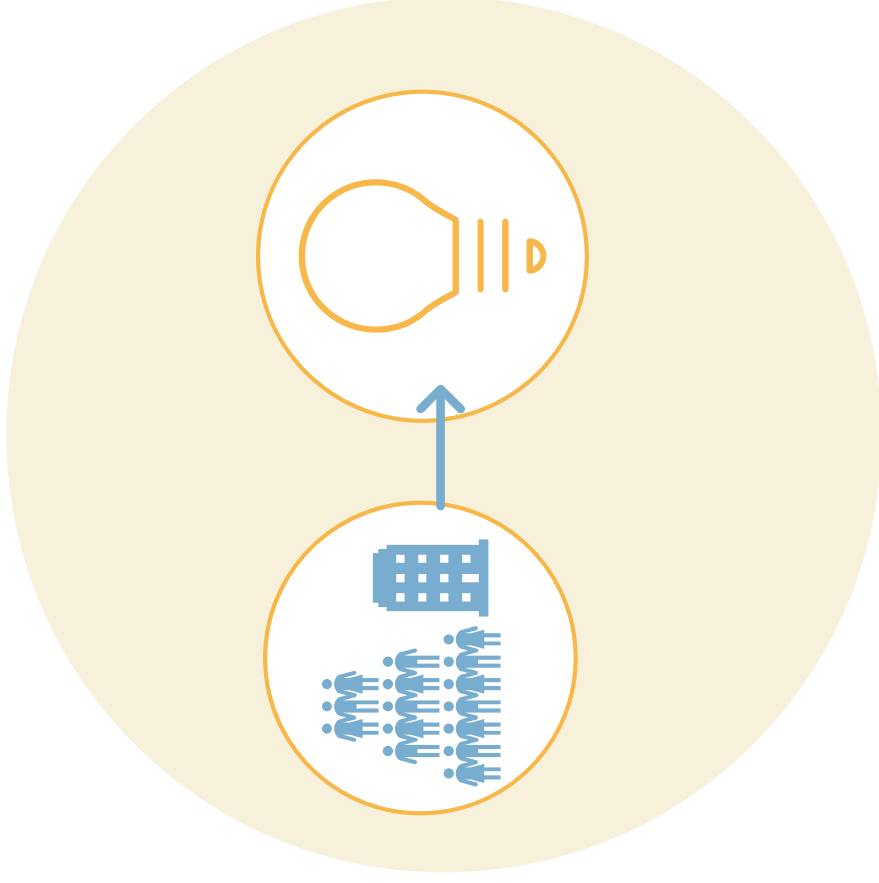
2. 現状の市民参加の手法について

- これからは意見を聞くだけでなく市民と問題点や課題を共有した上で**ともに考える時代へ**

行政の提案に対し、限られたタイミングで
限られた市民が意見を述べるに留まる



誰もが手軽に情報を得られ、
意見を述べることができる環境を整備し、
様々な市民と行政が一緒に議論する形に



(参考) 過去に札幌市が行った市政参加の促進に向けた試験的取組

市民による集中評価会議

実施時期

- 平成19～25年度

開催目的

- 自治基本条例第31条に規定している「本市の施策が条例の趣旨に沿って整備され、また運用されているかどうかを市民参加の上で評価する」仕組みづくりに向けた取組の一環。
- 行政に声を届ける機会の少なかった市民の参加を促し、その声を市政に反映させる。

実施手法

- 局区実施プラン計上事業のうち、「市民参加の促進」に取り組んだ事例を数例抽出、情報提供し、市民の視点から「市民の参加が具体的に促進されているか」等について評価。
- 無作為抽出した18歳以上の市民2千人に参加を呼びかけ、応募のあった方から30人を選出。性別や年齢層のバランスを札幌市の構成と同様になるよう考慮。参加者には報酬を支払った。

会議の進め方

- 事例ごとに事業担当課から説明を行った後、個人の印象で投票を行い、それについて各グループ(1グループ4～5人)内で意見交換をした後に、2回目の投票を行い、最後にグループとして意見をまとめ、発表を行う。期間は1～2日間。

事例説明 ▶ 投票(1回目) ▶ 話し合い ▶ 投票(2回目) ▶ まとめ発表

討論型世論調査

実施時期

- 平成25年度に「雪とわたしたちの暮らし」をテーマに実施

開催目的

- 参加者同士の討論や情報提供を通じて、参加者の意見がどのように変わるのかを探り、今後の雪対策に生かす。
- 討論型世論調査そのものが市民参加の推進に有効かどうかを検証する。

実施手法

- 通常の世論調査に加え、テーマについての資料や専門家からの十分な情報提供のもと行われる「討論フォーラム(小グループ討論+全体会議)」により、じっくりと検討した後、再度アンケート調査を行い、意見や態度の変化を見る。
- 無作為抽出した18歳以上の市民3千人にアンケートを郵送し、討論会の参加申込書を同封。応募のあった方205名が参加し、討論会を実施。参加者には報酬を支払った。

会議の進め方

- テーマに関して、最初にアンケート調査を行った後、「小グループ討論(16～17名程度)+全体会議」を2セット実施し、最後にアンケート調査を行った。

世論調査 ▶ 討論会 ▶ アンケート ▶ 小グループ討論+全体会議×2 ▶ アンケート

評価の結果(H19年度)

- 同じ対象を評価した行政評価委員会とほぼ同様の評価が導き出された。
- 2回の投票に関しては、全体としてあまり意見の変化はみられなかった。

結果の活用(H19年度)

- 市役所内での情報共有、各部署における取組促進、改善に活用。

参加者の意見(H19年度)

- 参加について「大変満足」「満足」が多かった。
- 今後の参加について、「ぜひ参加したい」「日程が合えば参加したい」が多かった。

調査の結果

- 傾向としては、雪対策の満足度が上がったり、生活道路については満足度が上がったものの低い水準のままであったり、雪かきボランテアなどに協力できるという意見が増えるなどの変化が見られた。

結果の活用

- 庁内での情報共有、今後の事業の検討に活用。

参加者の意見

- 「参加してよかった」「また参加してみたい」「人の意見を聞いて新たに気づかされることがあった」といった意見が多かった。

(参考) 「議論」の手法の素案

【参考資料】
令和6年(2024年)5月29日 第5回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局 (市民自治推進室)



目的

- ・市民全体のために何をどうすべきかという視点で、様々な層の市民が議論する意義、意識の醸成
- ・普段市政に参加する機会の少ない市民が、市政に参加する機会の拡大
- ・アンケート調査とは異なる「熟慮した市民意見」の収集
- ・有効性を検証し、市政の制度的な仕組みとしての導入可能性を探る

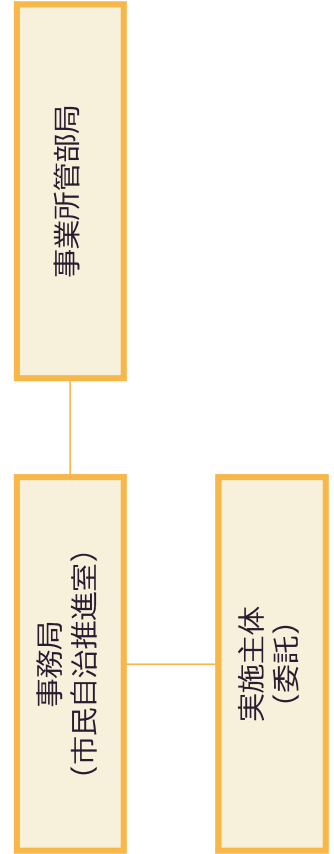
実施期間

- ・テーマに応じて設定

参加者

- ・住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2千人にアンケート調査を行うとともに、議論への参加を呼びかける。

実施スキーム



実施手法

- ・応募のあった方から抽選して30人を選出。性別や年齢層のバランスを札幌市の構成と同様になるよう考慮。
- ・事前に会議資料を送付し、予備知識を得ていただく。
- ・発言しやすい環境づくりや公平な議論のためにファシリテーターを配置。

会議の進め方

- ・テーマに関し、有識者や関係者、担当課から説明を行った後、各グループ(1グループ4~5人)内で意見交換。
- ・意見交換後、全体の意見を結論としてまとめる。
- ・最後に事後アンケートを行う。

結果の活用

- ・結論の内容や参加者の意識の変化(事前アンケート、事後アンケート)について広く広報する。
- ・結論を受け、市として政策への反映や計画に盛り込むなど、成果を反映するとともに、その結果を公表・周知する。

調査区分ごとの回答者属性、回答数等(調査期間:令和6年5月22日～6月14日)

区分	回答者属性				回答数				回答率
	男	女	その他	合計	紙	Google フォーム	LINE	スマート 申請	合計
19歳(対象3,000人)	250	304	3	557	229	328	-	-	557
18.6%									
大学生(対象約470人)	149	215	7	371	206	-	-	165	371
約79%									
19歳以下	107	163	6	276	167	-	-	109	276
-									
20歳以上	42	52	1	95	39	-	-	56	95
-									
その他(オンライン調査)	1,798	3,244	61	5,103	-	-	4,736	367	5,103
-									
19歳以下	78	145	7	230	-	-	195	35	230
-									
20歳以上	1,720	3,099	54	4,873	-	-	4,541	332	4,873
-									
合計	2,197	3,763	71	6,031	435	328	4,736	532	6,031

成人の日行事に関するアンケート調査結果の概要②

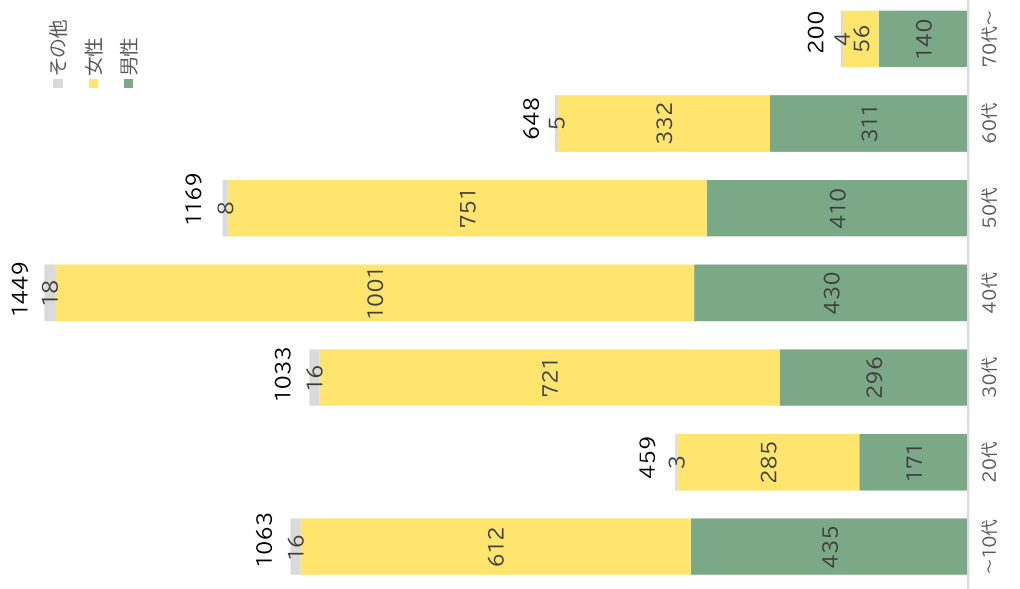
令和6年(2024年)8月7日 第6回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局 (市民自治推進室)

【資料1】

回答者の属性

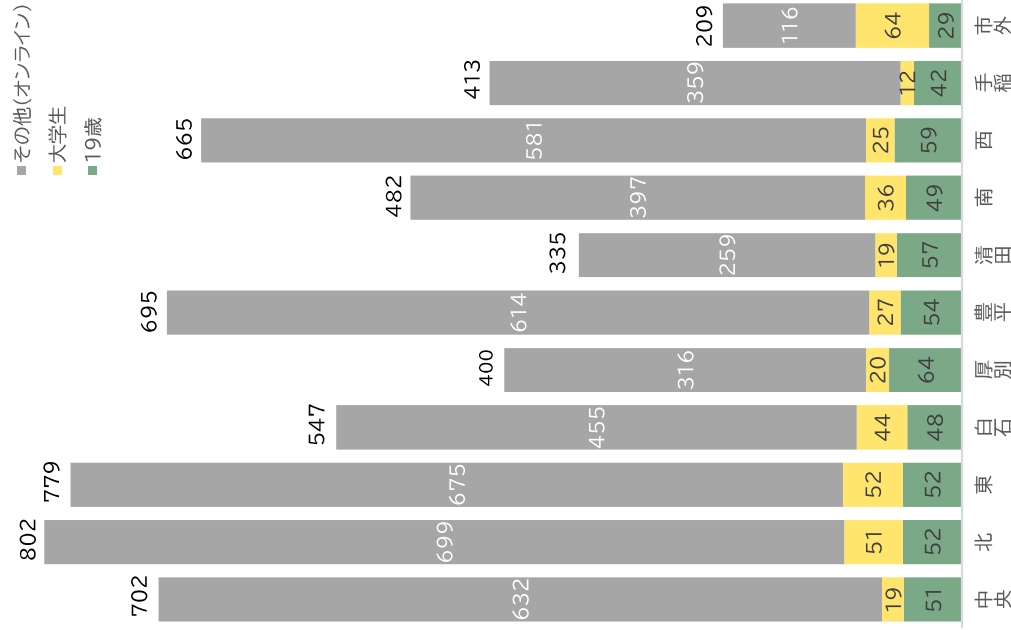
全回答者の年代

・10代、30～50代の回答を多く得られた



全回答者の居住地(不明除く)

・北区が最も多く、市内では清田区が最も少ない



全回答者の性別

・全ての調査区分において女性の割合が高い



成人の日行事に関するアンケート調査結果の概要③

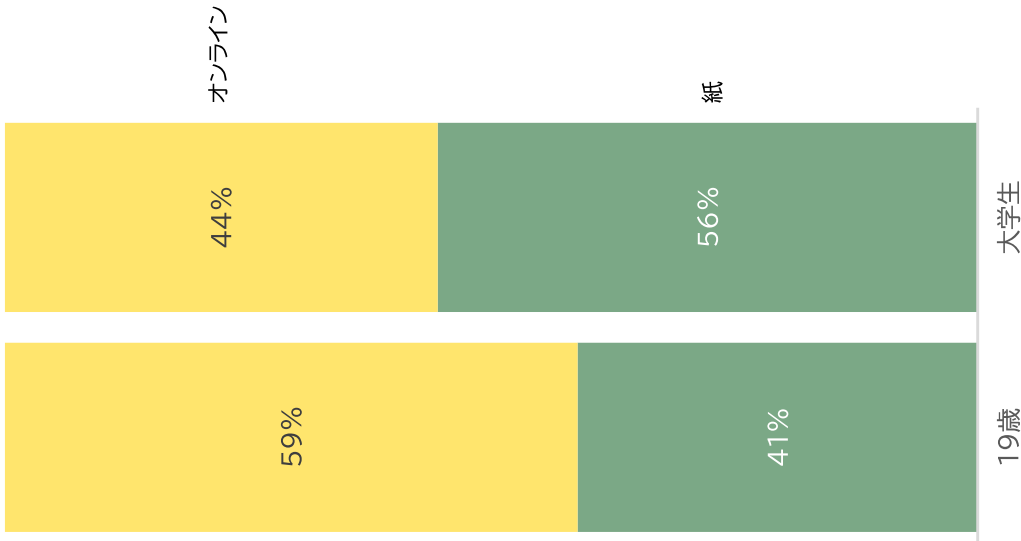
令和6年(2024年)8月7日 第6回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局 (市民自治推進室)

【資料1】

回答方法等

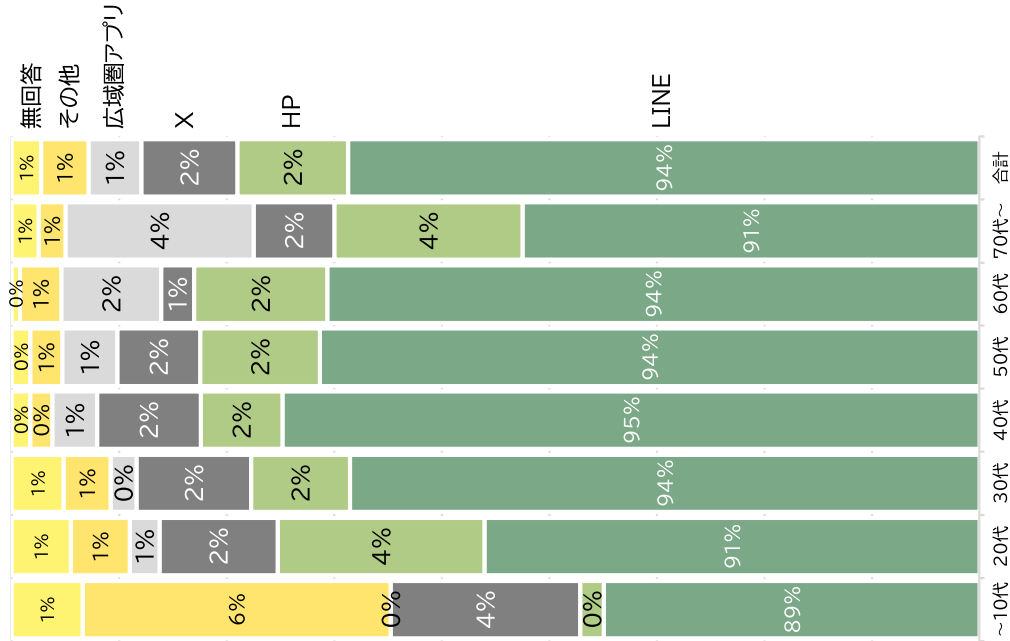
19歳・大学生の回答方法

- ・19歳はオンラインを選択する割合が高い
- ・大学生は授業で配布し紙の割合が高い



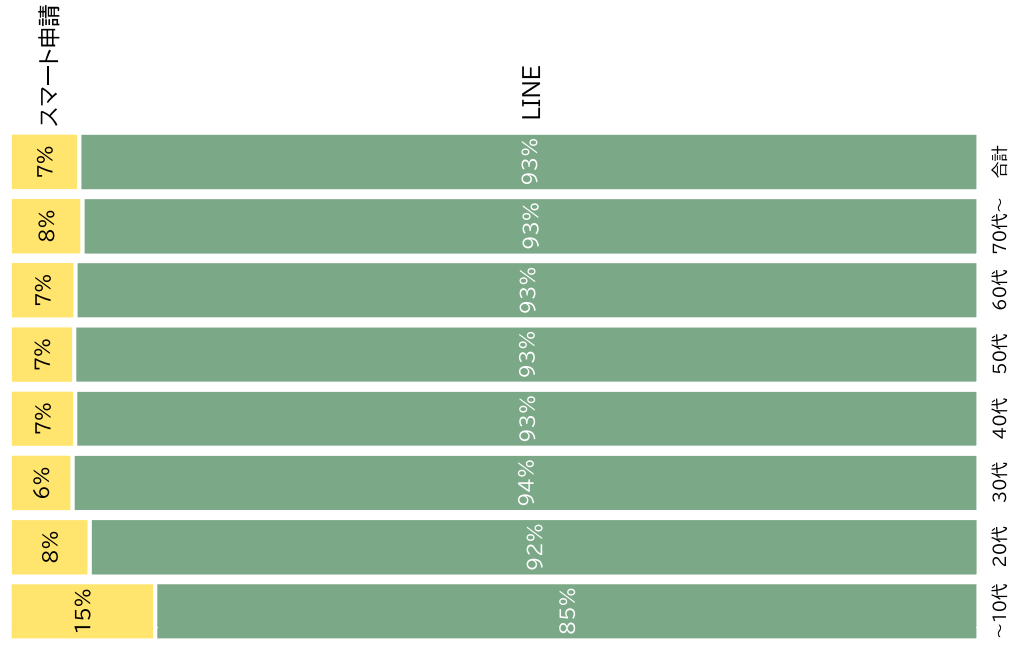
オンライン調査を知ったきっかけ

- ・9割はLINEがきっかけ
- ・10代は「その他」の意見が他世代より多い(親・家族からという記載が多い)



オンライン調査の回答方法

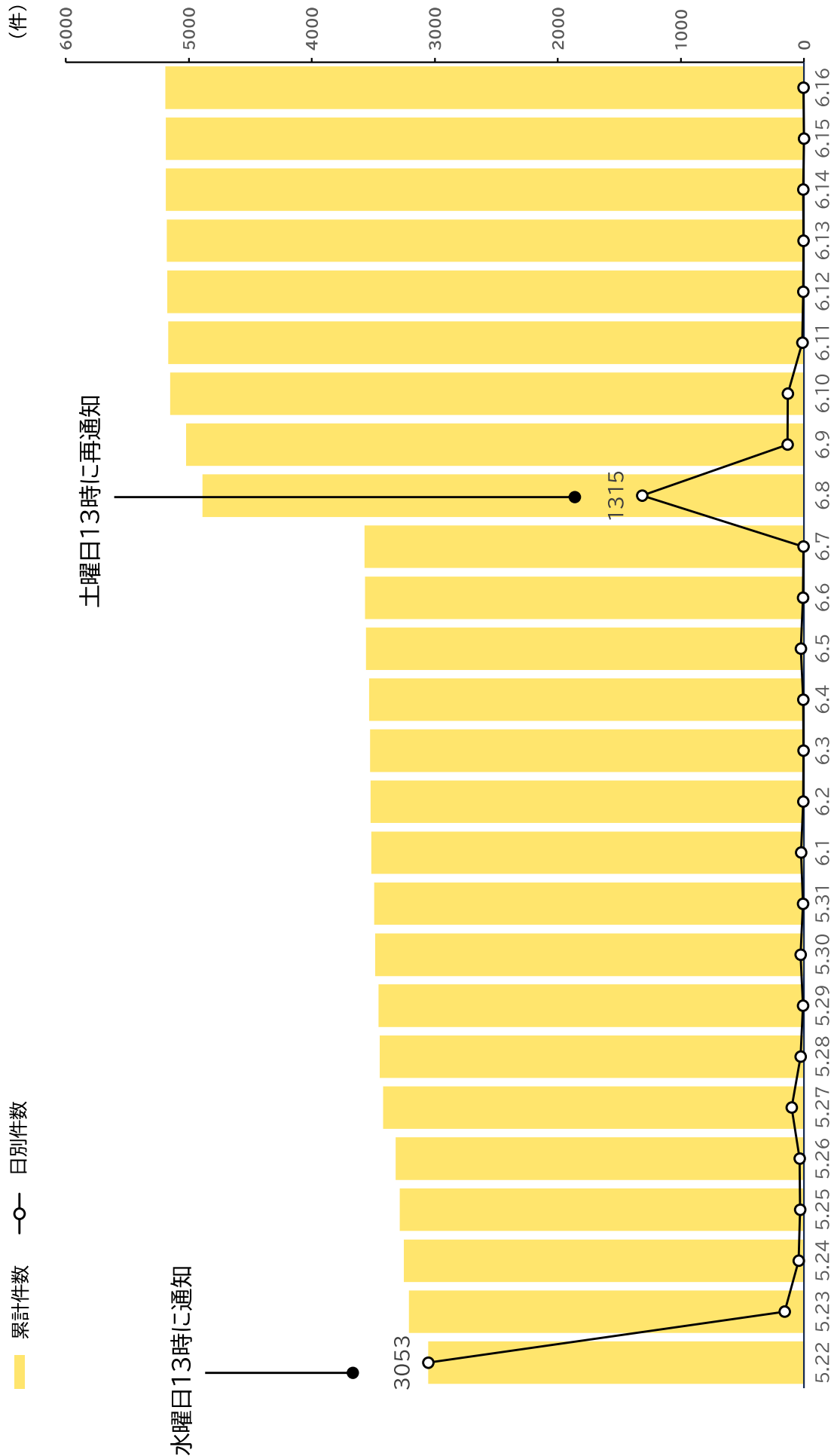
- ・9割はLINEから回答
- ・10代はスマート申請の割合が他世代より高い



成人の日行事に関するアンケート調査結果の概要④

その他(オンライン調査)日時集計

【資料1】
令和6年(2024年)8月7日 第6回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局(市民自治推進室)



成人の日行事に関するアンケート調査結果の概要⑤

Q アンケート調査に協力した理由

その他(オンライン調査)の回答

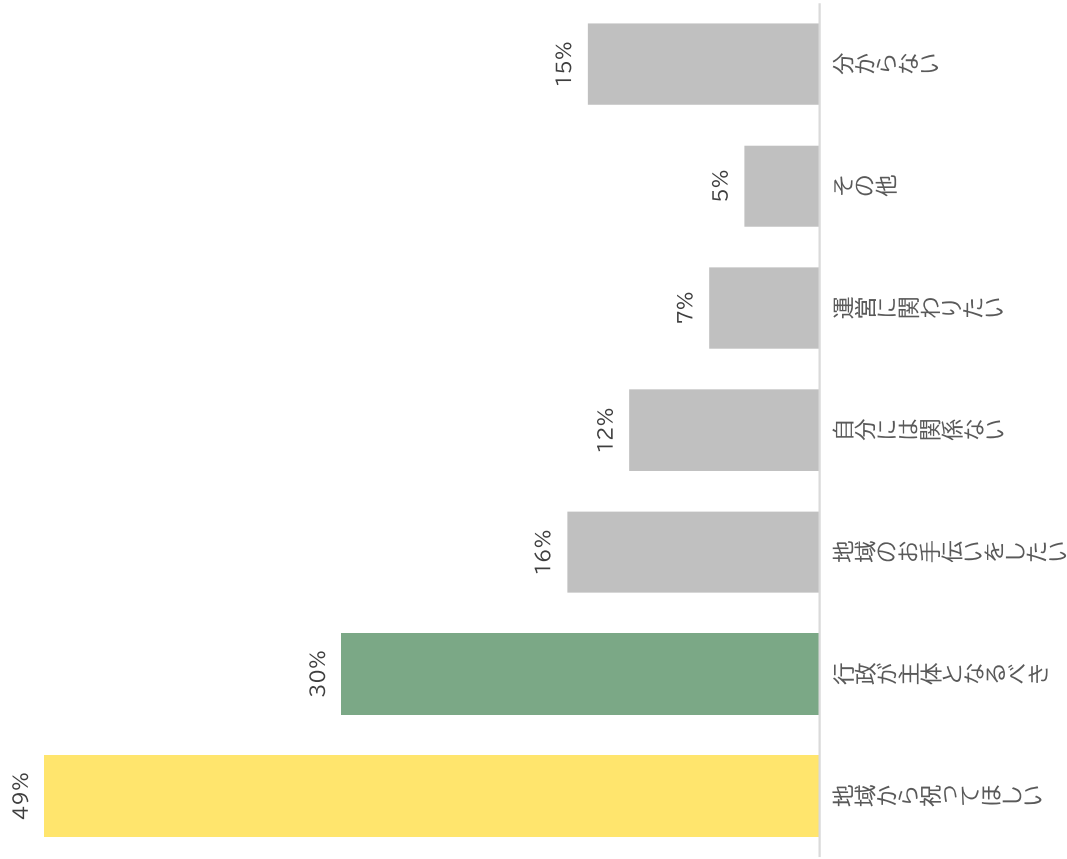
・アプリの通知に興味を持った方が最も多く、自分の意見を市に伝える機会がないと答えた方の割合も高い

理由	全体	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
アプリで通知があり、興味を持ったから	47.5%	32.6%	52.7%	57.0%	50.2%	48.4%	43.2%	31.5%
自分の意見を札幌市に伝える機会が普段はないから	24.9%	25.7%	23.6%	27.1%	25.9%	26.1%	27.2%	23.5%
回答にそれほど手間がかからないから	21.8%	12.2%	25.3%	27.4%	24.4%	20.8%	16.4%	18.5%
もっと良いイベントにしたいから	21.7%	25.7%	18.4%	21.7%	23.5%	23.9%	22.1%	26.5%
身近な話題であるから	17.0%	52.6%	10.2%	10.8%	28.2%	21.4%	6.0%	9.5%
自分にとって大事なイベントだから	13.8%	44.8%	25.3%	16.8%	13.4%	11.3%	11.9%	17.0%
自分の意見を参考にしてもらいたいと思ったから	13.1%	17.0%	9.9%	12.9%	13.7%	13.8%	16.7%	15.5%
札幌市からのアンケートに義務感を感じたから	11.4%	9.1%	10.7%	10.6%	11.2%	12.4%	14.8%	16.0%
その他	3.4%	2.6%	5.8%	3.6%	3.8%	2.7%	3.5%	3.0%

Q 地域が主体となって実施することが困難になる恐れがあることについて

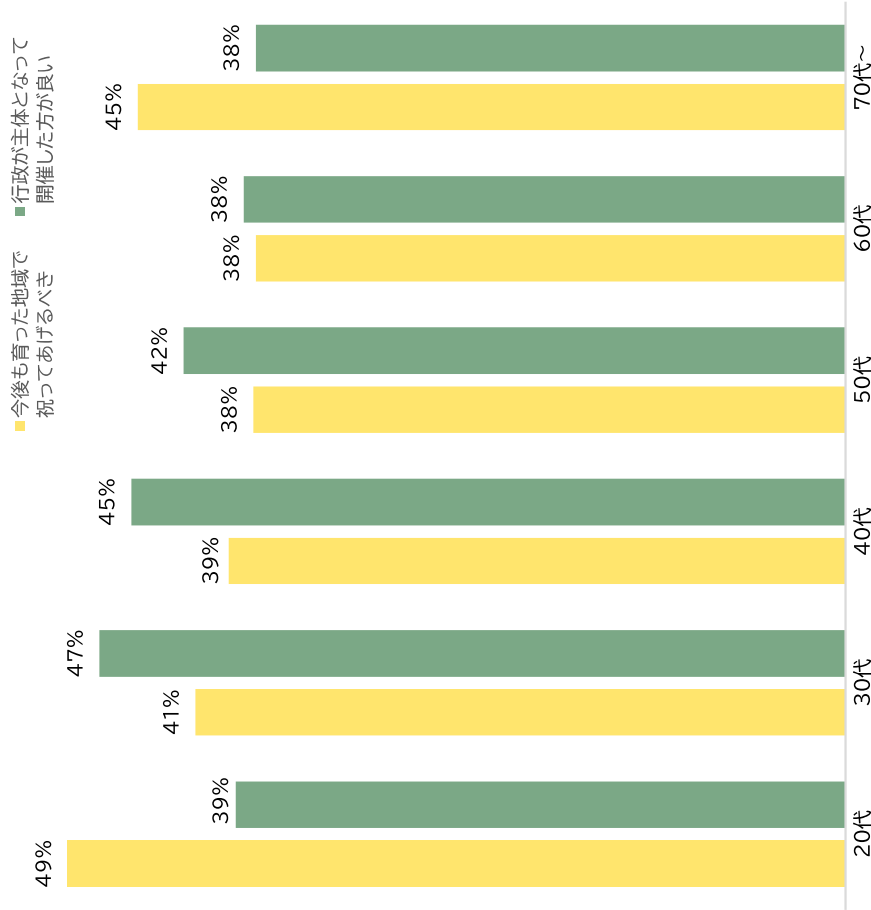
19歳以下の回答

・「地域から祝ってほしい」という意見が最も多い



20代以上の回答(地域と行政について)

・20代、70代は「地域で祝ってあげべき」という意見が多く、30～50代は「行政が主体となるべき」が多い



成人の日行事に関するアンケート調査結果の概要⑦

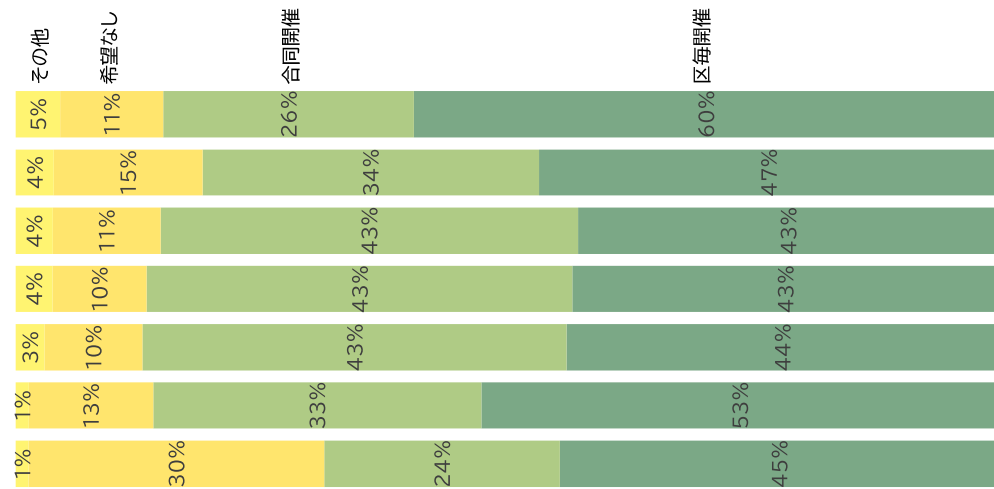
令和6年(2024年)8月7日 第6回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局 (市民自治推進室)

【資料1】

Q 今後の開催方法として希望するもの

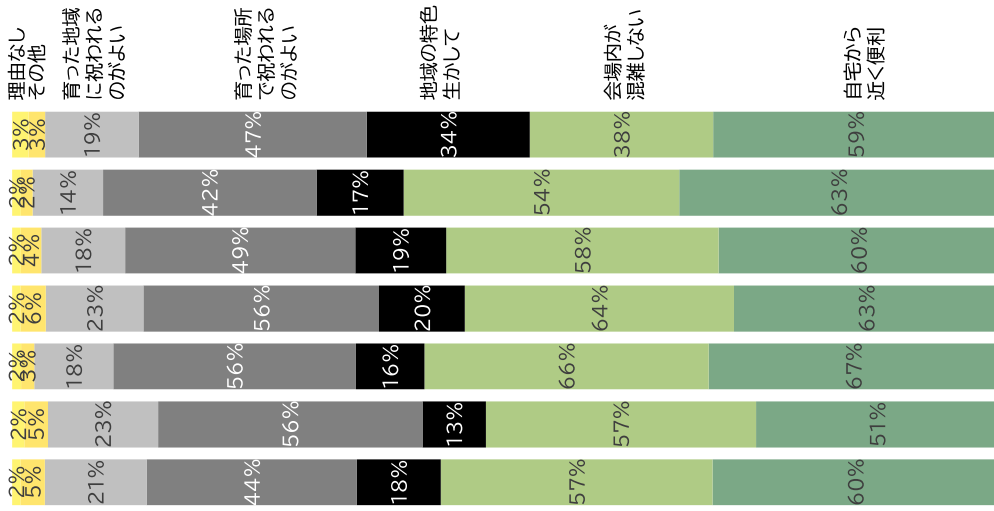
全世代の回答

- ・10～20代、70以上は区毎の意見が多い
- ・30～50代は区毎と合同が同程度



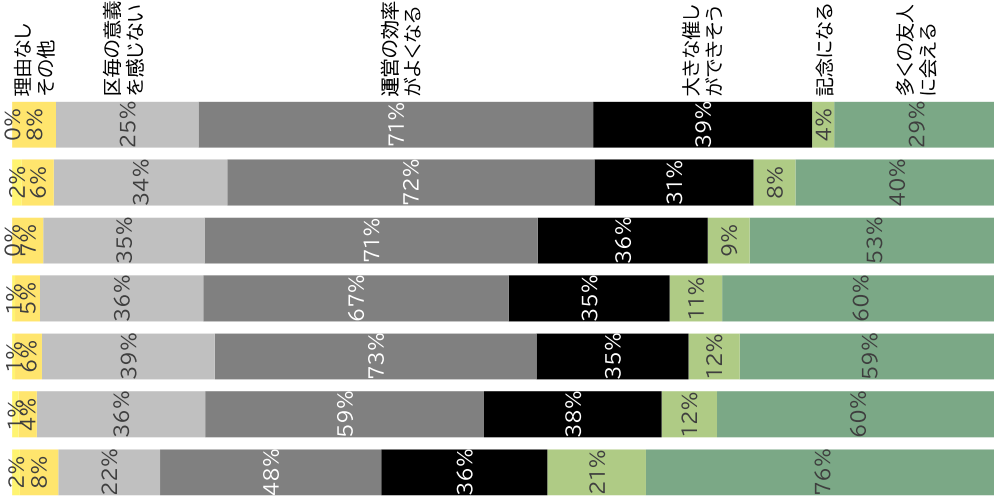
区毎を希望した理由

- ・「近くて便利」、「混雑しないから」が多い
- ・70以上は「地域の特色生かして」が多い



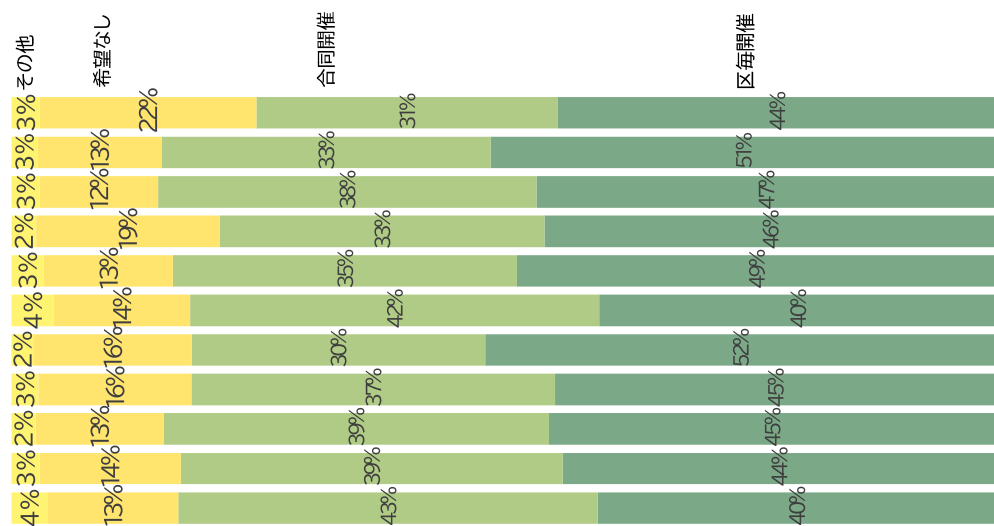
合同開催を希望した理由

- ・若い方は友人に会うことや記念を重視
- ・年齢が高くなると運営の効率を重視



居住区別の回答

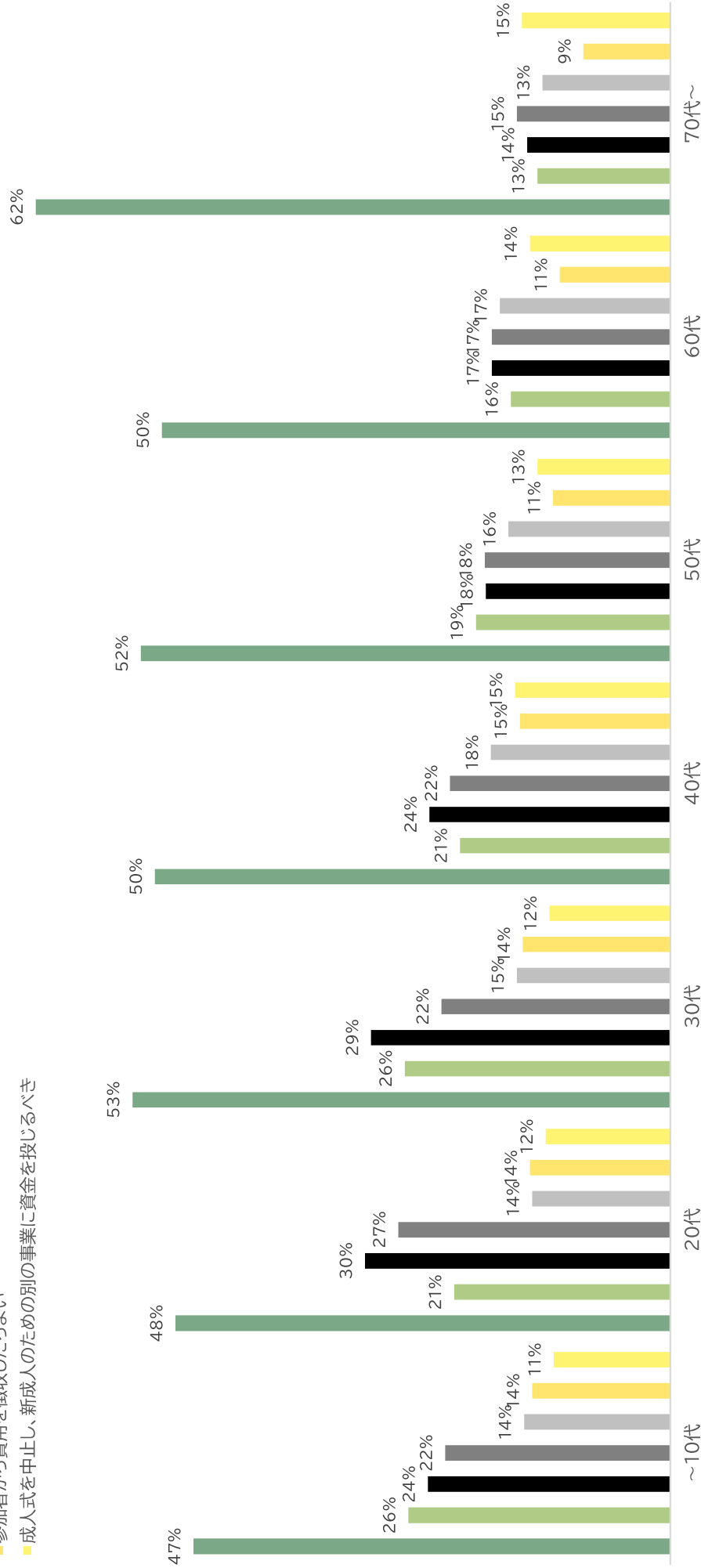
- ・中央、豊平は合同開催の意見が多い
- ・厚別、清田、手稲は区毎の意見が多い



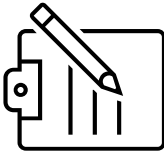
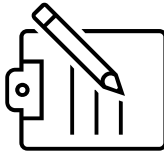
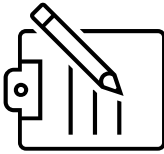
Q 運営資金の確保をどのように行うのが良いと思うか

- ・若い方はクラウドファンディングなどの大規模な寄付を呼びかける意見や地元企業が寄付を行うべきという意見が多い
- ・年齢が高くなると行政からの補助を増やすべきという意見が減少

- 限られた運営資金の中でできることを実施するべき
- 大規模な寄付の呼びかけなどで資金を募ればよい
- 地元企業がもっと寄付を行えばよい
- 行政からの補助を増やすべき
- 財政が厳しいなら、成人式を実施する必要はない
- 参加者から費用を徴収したらよい
- 成人式を中止し、新成人のための別の事業に資金を投じるべき



令和6年5月～7月に、各区の成人の日行事実施委員会の構成団体(計14団体)へ課題などのヒアリングを実施

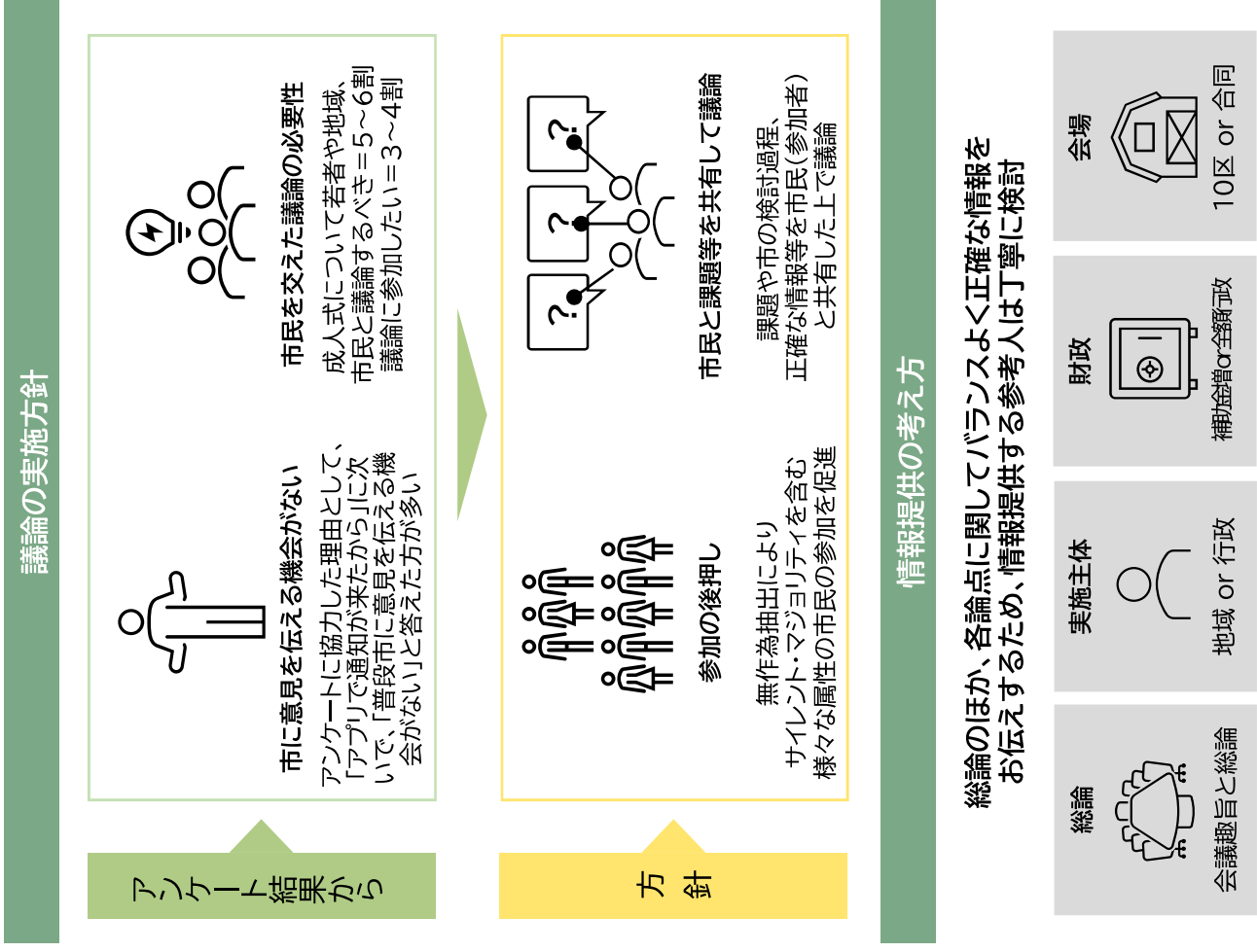
質問項目	主な意見	その他の意見
 成人式の必要性・やりがい	・人生の節目として、成人の日行事は必要。 ・参加者が楽しそうにしている姿を見るのは喜び(親にとっても楽しみだろう)。 ・地域として祝ってあげたい。	・全市で5割～6割という出席率はそれほど高くないと思うので、このまま継続するかどうか検討すべき時期。 ・なぜ地域主体で祝っているのか疑問を持つ方もいる。 ・行政が主催することになると、地域で青少年を見守ってきたという意識が薄れていくのではないか。 ・伝統として引き継がれてきたものを引き継いでいく。 ・地域での開催は苦労もあるが、手作り感があってよい。 ・市外に出た方が故郷に戻ってくるきっかけになる。
 現状の課題	・企業から協賛金を集めているが、将来的に協賛を継続してもらえないかは不透明。 ・昨今の物価高騰の影響などもあり、人件費や会場代も増えている。その分、補助金額にも反映してもらいたいのだが、増額してもらえない。 ・従事者が高齢化しており、丸一日従事することが体力的に難しい面がある。若い方の成り手もない状況。	・記念品を配布したい(もっと記念に残るものにしたい)。 ・地域が企業に協賛金をお願いして回ることが疑問。 ・参加者に喜んでもらえる催しが分らない。 ・区によって催しが違うことは不公平ではないか。 ・補助金額は基本的に各区一律になっているが、実情に合わせてほしい。 ・従事者の配置や動きなどに工夫の余地がある。 ・会場によって負担感が違う。 ・課題は特にならない(負担は感じていない)。
 市への要望	・余裕を持った運営を行うために、市からの補助金を増やしてほしい。	・将来を担う札幌市の子どもたちを祝うという観点から行政が主催すべき(地域が手伝うことは可能という意見もあり)。 ・行政が職員を動員すべき。 ・行政が式にかかる予算を全額賄うべき。 ・クラウドファンディングを活用してはどうか。 ・札幌ドームで合同開催することを検討してほしい(遠くになって不便という意見もあり)。

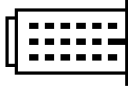
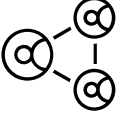
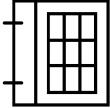
成人の曰行事のあり方に関する論点の整理

令和6年(2024年)8月7日 第6回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局（市民自治推進室）

【資料1】

地域のスタンス (ヒアリングを行った団体の主な意見から)		19歳以下のスタンス (アンケート調査結果から)	20歳以上のスタンス (アンケート調査結果から)
実施主体	地域で祝いたい	地域に祝ってほしい	地域と行政が同程度
財政	補助金増額を希望	①限られた資金でできることを ②大規模な寄付呼びかけ ③補助金増額 ④地元企業の寄付	①限られた資金でできることを ②～④ 同程度 補助金増額 大規模な寄付呼びかけ 地元企業からの寄付
会場	各区開催を希望	各区開催を希望	各区と合同が同程度



議論の開催概要(案)	
日時	 令和6年10月27日(日)、11月4日(月・祝) ・9時30分～17時00分(昼休憩1時間)
会場	 札幌グランドホテル クリスタルホール ・北1条西4丁目地下1階(地下歩行空間直結) ・地下鉄札幌駅・大通駅徒歩4分、312㎡
参加者の募集方法	 住民基本台帳から無作為抽出し申込書を送付 無作為抽出の市民3千人(市の人口構成を考慮)と 19歳アンケート対象者(3千人)へ申込書を送付し、 アンケート調査の結果を同封。謝礼(1万円相当)あり。
会議の公正性の確保	 議論の手法やプロセスは市民自治推進会議が監視 ・事務局は市民自治推進室に置き、会議の運営は委託 ・ファシリテーターを確保
今後のスケジュール	 9月上旬参加依頼発送、10月上旬参加者決定 ・第7回会議において経過報告 ・実験のプロセスの進捗は札幌市公式HPで発信

議論の実施内容について(1回目:ミニ・パブリックス型)

【資料 2】
令和6年(2024年)8月7日 第6回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局 (市民自治推進室)

議論の目的と流れ

- ・無作為抽出の市民40人により議論を実施し、ファシリテーターが合意形成を支援
- ・参加者は、応募者の中から性別や年齢などのバランスを考慮して選定
- ・論点に関して投票(評価)を行い、結果を市の策案及び今後のさらなる議論に活用
- ・市政課題に関して一般市民が熟議する機会を得た場合の意識の変容を調査し、手法に関する評価も実施



参加者の性別・年齢構成例

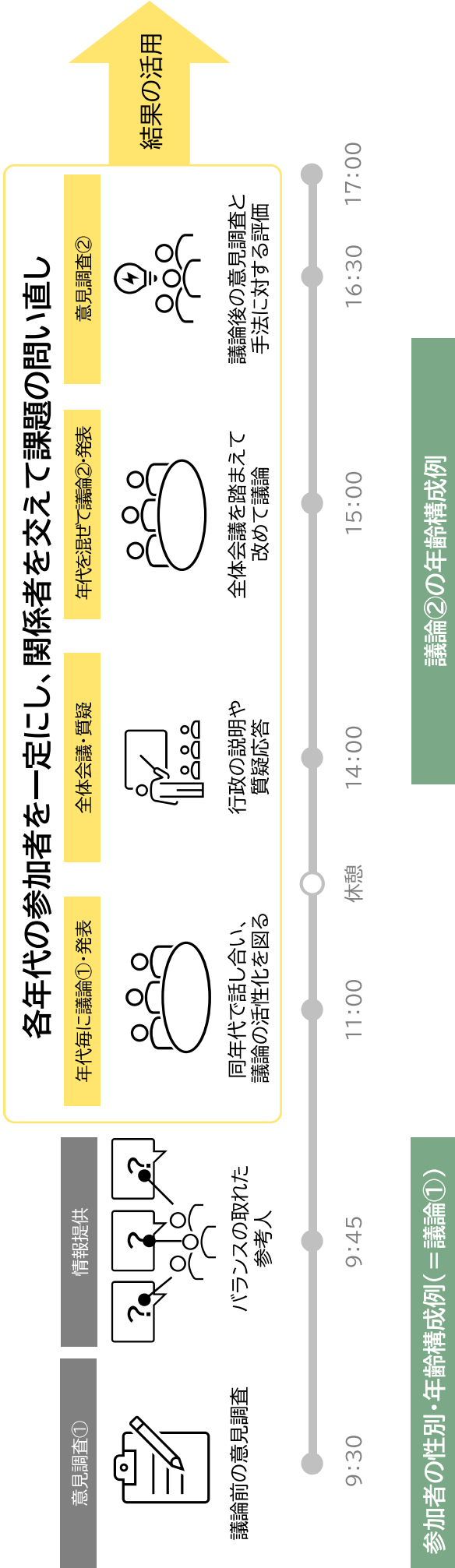
(人)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～	計
男性	1	2	3	3	3	3	3	18
女性	1	3	3	4	4	3	4	22
計	2	5	6	7	7	6	7	40

テーブル毎の年齢構成例

(人)	A	B	C	D	E	F	計
10～20代	2	1	1	1	1	1	7
30～40代	2	3	2	2	2	2	13
50代以上	3	3	4	4	3	3	20
計	7	7	7	7	6	6	40

議論の目的と流れ

- ・無作為抽出の市民40人により議論を実施し、ファシリテーターが合意形成を支援
- ・参加者は、応募者の中から性別や年齢などのバランスを考慮して選定
- ・年代毎の意見の把握を試みるとともに、論点に関して投票(評価)を行い、結果を市の策案及び今後のさらなる議論に活用
- ・市政課題に関して一般市民が年代毎に熟議する機会などを得た場合の意識の変容を調査し、手法に関する評価も実施



(人)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～	計
男性	3	3	3	3	3	2	3	20
女性	3	3	3	3	3	3	2	20
計	6	6	6	6	6	5	5	40

(人)	A	B	C	D	E	F	計
10～20代	2	2	2	2	2	2	12
30～40代	2	2	2	2	2	2	12
50代以上	3	3	3	3	2	2	16
計	7	7	7	7	6	6	40

目的

- ・ 成人式のあり方の検討への結果の活用
- ・ 市民参加の仕組みづくり(サイレント・マジョリティの掘り起こしと参加者の意識の変化の検証)の検討への結果の活用

日時・場所

下記日程の9:30～17:00に札幌グランドホテル地下1階クリスタルホールで開催

- ・ 第1回 10月27日(日) ミニ・パブリックスの形式
- ・ 第2回 11月4日(月・祝) 年代毎の参加者数を一定にする形式

実施体制

主催 札幌市
協力 名古屋大学大学院 三上教授(予定)

参加者と抽出方法

各回18歳以上の札幌市民40人を予定(2段階で抽出)

- ・ 第1段階では、住民基本台帳を用いて3,000人を無作為抽出(抽出に当たっては、札幌市全体の縮図となるよう年齢・性別・居住区を割り当て)し、事前アンケート調査の対象となった19歳の市民3,000人と合わせて計6,000人に案内状を9月11日付で送付。
- ・ 第2段階では、第1回会議の参加者は札幌市全体の縮図となるよう、年代や性別、居住地域、職業などの属性の他、地域活動への関心度合や会議での議論に慣れているかを考慮して抽出予定。第2回会議の参加者は、10代から70代の各年代の参加者数を一定とし、その他の属性は第1回と同様の観点から抽出予定。

テーマと論点

市民へのアンケートや地域へのヒアリング結果を基に、会議テーマ、3つの論点、論点ごとに1～3個の問いを設定し、議論や投票に使用。

テーマ：成人式は今後どのような姿を目指していくのがよいか

論点	問い	項目
【論点1】 成人式の方針 (何を大事にするか)	Q1 重視すべき点 実施する上でどのような視点や考え方を特に重視すべきだと思いますか。(7段階で評価)	・厳粛な式・文化に触れる・出席率・満足度 ・懇親・地域社会から祝われる場の創出 ・主催者のやりがい・主催者の負担軽減 ・必要性(廃止・継続)・コスト・アクセス ・開催時期(冬・夏)・時間数(長・短)等
	Q2 実施主体 運営について誰が主体的に担っていくのがよいと思いますか。(1つを選択)	ア 地域が主体のまま イ 行政が主体となるのがよい ウ 新成人による実行委員会
	Q3 開催場所 どのような場所で開催されるのがよいと思いますか。(1つを選択)	ア 区ごとの開催のまま イ 1か所に集まって合同開催する ウ 2～3区が集まって合同で開催する
【論点3】 財源の確保 (誰が、どのように)	Q4 内容 どのような内容を特に重視すべきだと思いますか。(7段階で評価)	・来賓からの祝辞・記念撮影コーナー ・コンサートなどの催し ・元担任の先生からのお祝いのメッセージ ・記念品や抽選で当たるプレゼント ・参加者同士が会話を楽しめる場の設置等
	Q5 財源 財源を確保していくために、だれの、どのような取組が特に重要だと思いますか。重要だと思う順に、優先順位をつけてください。	・市の補助金 ・各地域が協賛金などの確保に取り組む ・市や各地域が寄付を募る ・企業自らが寄付を行う ・市民自らが寄付を行う
	Q6 補助金 市からの補助金の額は運営費全体のどの程度であるとよいと思いますか。(1つを選択)	・全額 ・運営費の8～9割 ・運営費の6～7割 ・運営費の4～5割 ・運営費の2～3割 ・1割以下 ※現状5～6割程度

情報提供の計画

議論に必要な情報をバランスよく提供するため、複数名の情報提供者によるレクチャーを予定。

	必要となる情報提供の要素	情報提供者の人选の考え方
Q1 重視すべき点	・歴史的背景 ・札幌市における成人式の実施状況 ・他自治体の状況 ・市民アンケートの結果	・札幌市担当者が基礎的情報を提供する
Q2 実施主体	・地域が主催する場合の利点と課題 ・行政が主催する場合の利点と課題 ・新成人による実行委員会の事例提供	・札幌市担当者に加えて、次の異なる観点から情報提供していただける方を招へいする - ア 地元開催にかけの思いのある地域の方 - イ 行政が開催すべきと考ええる地域の方
Q3 開催場所	・区ごとに開催する場合の利点と課題 ・合同開催をする場合の利点と課題 ・2～3区が集まって合同で開催する場合の利点と課題	・札幌市担当者に加えて、次の異なる観点から情報提供していただける方を招へいする - ア 地元開催にかけの思いのある地域の方 - イ 合同開催を望む地域の方
Q4 内容	・各区の式典の内容 ・他都市の状況	・札幌市担当者が基礎的情報を提供する
Q5 財源	・実施委員会の財政運営状況 ・札幌市の予算の考え方 ・札幌市の補助金の考え方	・札幌市担当者に加えて、実施委員会として予算確保に取り組んでいる地域の方を招へいする
Q6 補助金		

会議の進め方

メインファシリテーターが全体司会を務め、テーブルファシリテーターが各グループの議論を支援。

プログラム(案)

9:30-10:00	オリエンテーション、会議前アンケート調査(各論点への投票)
10:00-10:15	アイスブレイク(成人式の印象について)
10:15-11:00	情報提供(論点1～3について。各論点につき、10分の情報提供と5分のフリートークを行う)
11:00-12:00	第1部 グループディスカッション
12:00-13:00	お昼休憩
13:00-14:00	第2部 グループディスカッション(※第2回目は、後半30分で各グループの意見を発表)
14:00-15:00	全体会議(市職員の他、地域で成人の日行事に携わっている方も10名程度参加し、質問に応答)
15:00-16:00	第3部 グループディスカッション(※第2回目は、このタイミングで各年代を混成して議論)
16:00-16:30	発表(各グループで出た意見)※グループとして合意形成が図られた場合はその旨発表
16:30-17:00	振り返り、会議後アンケート調査(各論点への投票)

37

会議の記録

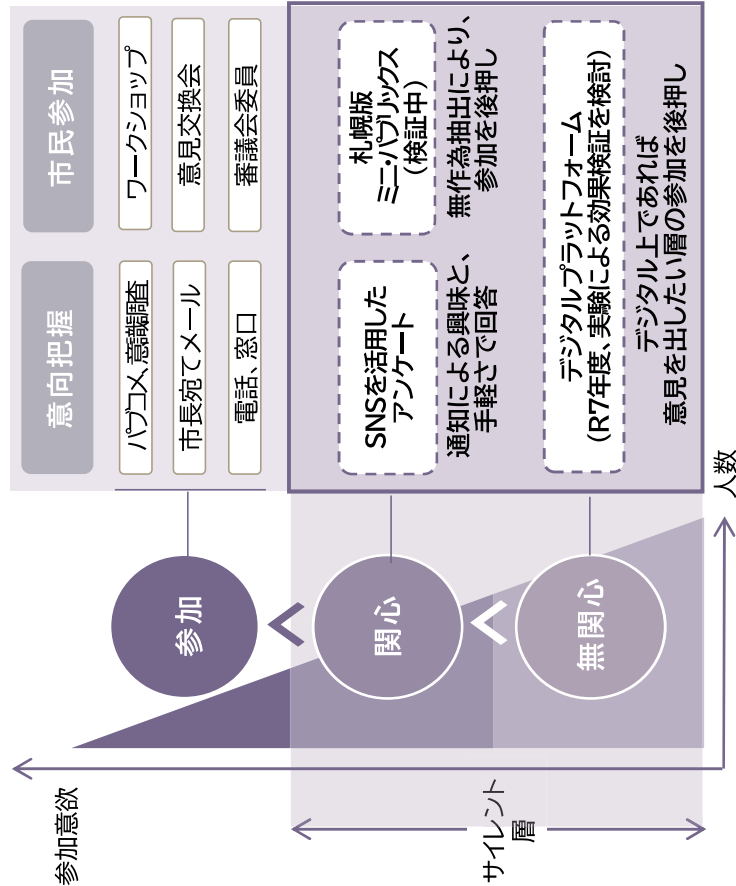
情報提供資料や会議全体の様子を記録した映像を市公式HP上で公開予定。

結果の公表と活用

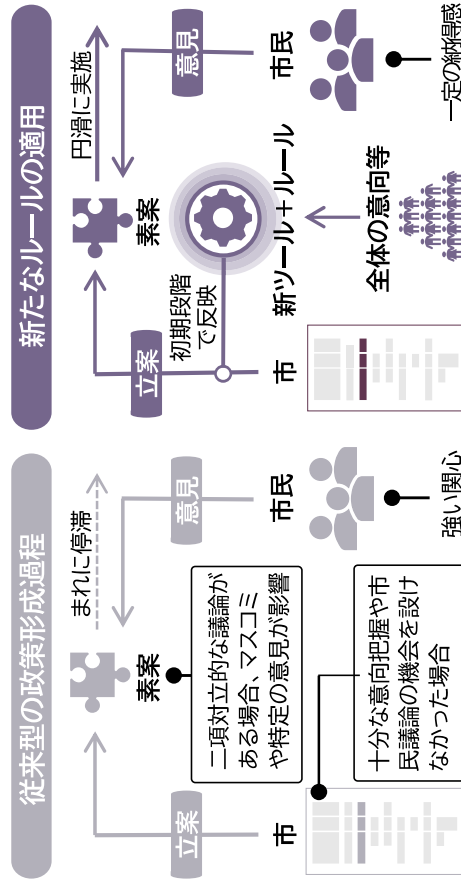
結果は報告書としてまとめ、公表するとともに、結果は市の今後の取組の検討や関係者とのさらなる議論に活用する。

- ・ 現在検証中である「新たな意向把握手法(新たなツール)」を導入するにあたり、実効性の担保を行う必要がある
- ・ SNSを活用した市民全体の意向の把握(サイレント・マジョリティを含む)やミニ・パブリックスの活用など、想定される新たなツールの特性を十分に生かした形でルールを検討

ツール全体のイメージ



新ルールの適用イメージ



- ・ 事案の内容に応じて、新たなツールを加えたさまざまな手法の組み合わせにより政策を形成していくことを基本とする。
- ・ ただし、「大きな市政課題の方針や施策を決定する場合、かつ、市民生活へ与える影響が大きい事案」については、市民全体の意向や市民議論を踏まえた上で、市長や議会の意思決定が下される必要があるもので、新たなツールの利用を原則とすることなどを検討。

- ・ 市役所内部の情報提供・市民参加のルールに、新たなツールの内容や背景、運用に当たっての考え方を加え、職員への浸透を図る
- ・ 市民と市役所がともに考え、市政課題の解決を図っていくためには、市民に求められる役割も明確化することが必要
- ・ ガイドライン作成により、行政運営の透明性の向上、市の方針や手続きを市民に理解してもらい協力を得やすくなる、職員の業務の効率化等が見込まれる

ガイドラインのイメージ

情報共有と市民参加の推進のための ガイドライン(仮)	第1章 情報共有、市民参加の目的	・ 情報共有、市民参加の目的、背景、必要性
	第2章 情報共有の推進	・ 実施時期、手法、情報提供のポイント
	第3章 市民参加の推進	・ 実施時期、手法、市民参加のポイント
	第4章 市民の役割	・ 情報収集の方法 ・ 意見の提出や参加の機会の活用 ・ 市民モニター制度(仮称・市民サポーターズ)への登録
	第5章 評価	・ ガイドラインの評価、見直し

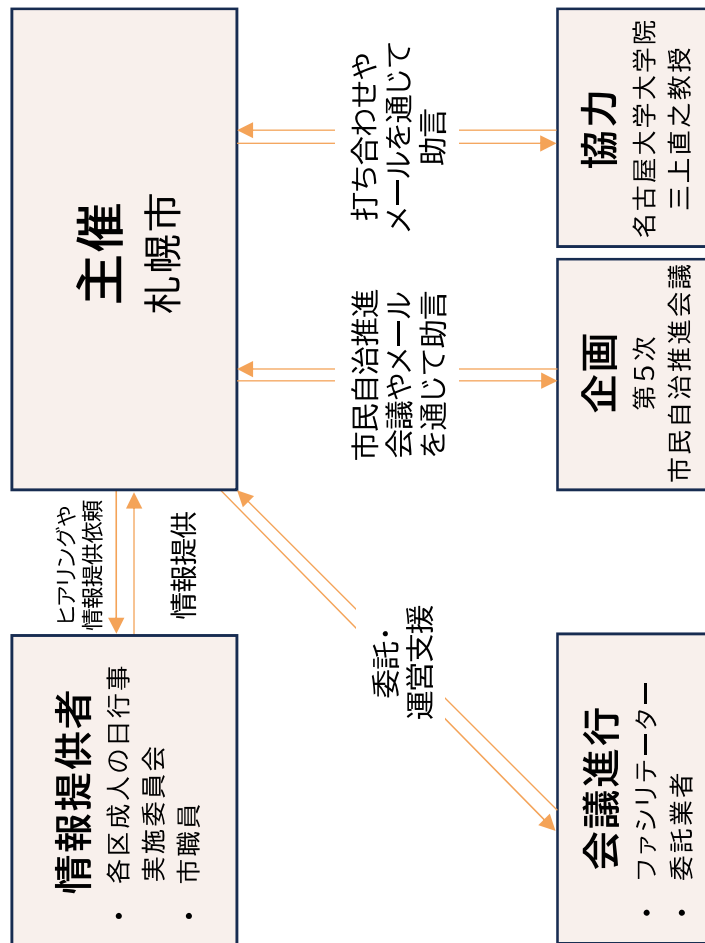
1.未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 開催概要

令和6年(2024年)12月3日 第8回第5次市民自治推進会議
市民自治推進会議事務局 (市民自治推進室)

【資料1-1】

- 第5次市民自治推進会議が企画した「未来の成人式を考える市民会議」を10月27日(日)、11月4日(月・祝)、札幌グランドホテル クリスタルホールで開催
- 同会議の目的は、①成人式のあり方の検討への結果の活用と②市民参加の仕組みづくり(サイレント・マジョリティの掘り起こしと参加者の意識の変化の検証)の検討への結果の活用
- 会議のテーマは「今後成人式はどのような姿を目指していくべきか」とし、3つの論点(「論点1 成人式の方針」、「論点2 実施主体、開催場所、内容」、「論点3 財源の確保」と各論点に関連する7つの問いを設定
- 無作為抽出で選ばれた市民が2日間で計82名参加し、事前送付された資料を読み、市職員や成人の日行事(成人式)の運営に携わる地域の方から成人式に関するさまざまな情報提供を受けたうえで、グループごとに議論し、アンケートに回答

【実施体制】



【10月27日 グループ討論の様子】

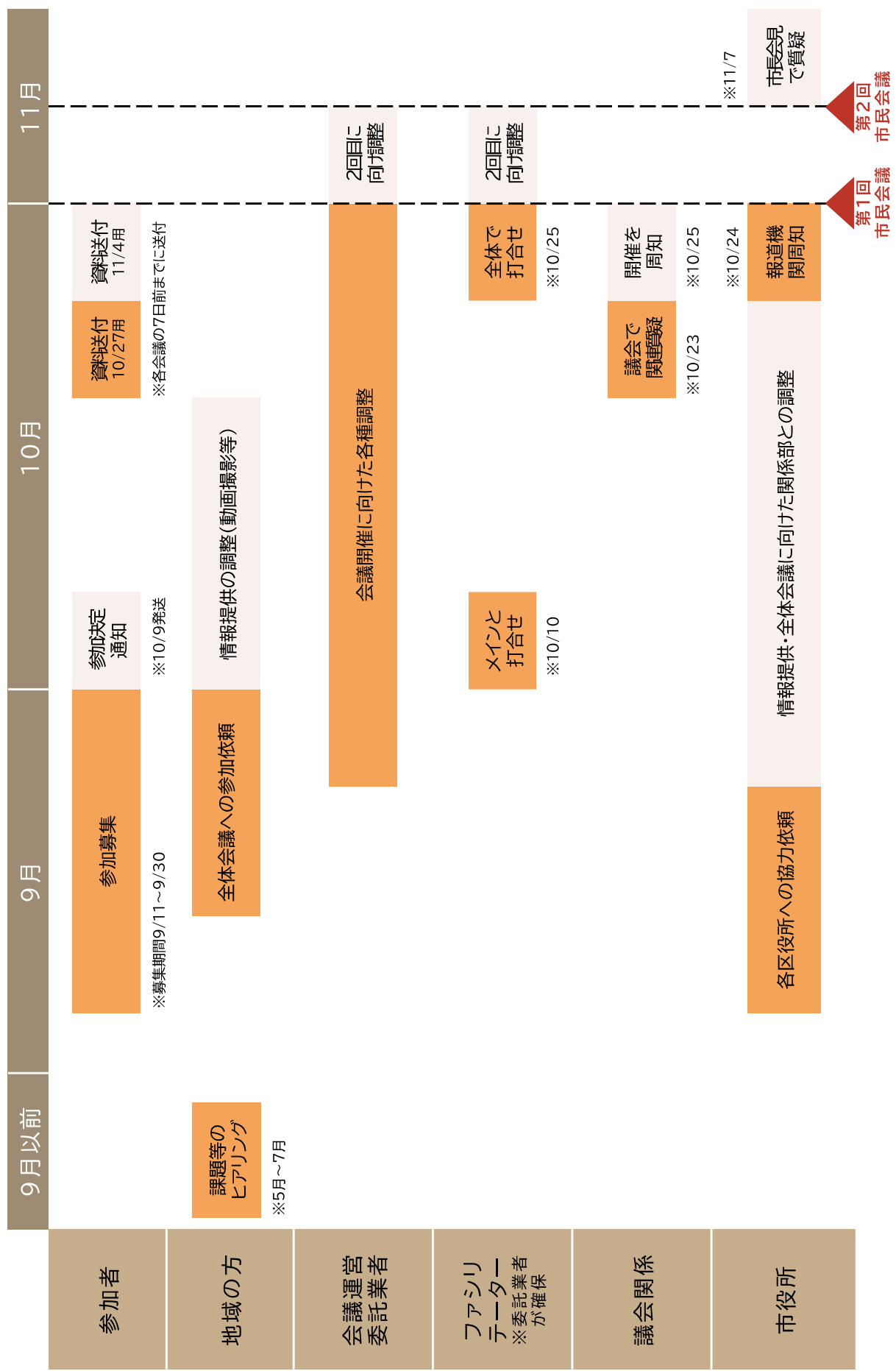


【11月24日 グループ討論の様子】



1.未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 開催までのスケジュール

- 市民自治推進会議における企画の検討状況や決定内容を考慮しながら、下図のとおり各種調整を進めた



1.未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 申込者について①

- 5～6月に実施した19歳向けアンケートの対象者3,000人に加え、新たに18歳以上79歳以下の市民3,000人を無作為に抽出し、市民会議への参加案内、申込用紙、市民アンケート結果概要を郵送
- 募集期間は9月11日～9月30日までとし、紙かオンラインで申し込みを受け付けたところ、226名が参加を希望
- 申込者の特徴は、案内数に対して若い方からの申し込みが少なくこと※1、女性の割合が男性よりも高いことが挙げられる
- 職業別にみると、仕事が主な方※2が全体の4割、通学をしている方※3が3割を占めた

※1 10代、20代の申込者86名中19歳向けアンケートの対象者が71名 ※2 会社員・公務員、パート・アルバイト、自営業 ※3 大学生、専門学校生、短大生、高校生

【申込者の性別・年代・居住区別の構成】

	性別		女性 (人)	計 (人)	申込者に 対する割合	市の人口に 対する割合
	男性 (人)	17	19	36	15.9%	8.0% ※18～19歳は1.7%
年代	10代 ※18～19歳	17	19	36	15.9%	8.0%
	20代	19	31	50	22.1%	10.2%
	30代	7	9	16	7.1%	11.2%
	40代	12	20	32	14.2%	14.0%
	50代	16	17	33	14.6%	14.9%
	60代	8	18	26	11.5%	12.6%
	70代	19	14	33	14.6%	13.1%
居住区	中央区	15	17	32	14.2%	12.5%
	北区	14	12	26	11.5%	14.5%
	東区	14	14	28	12.4%	13.3%
	白石区	5	22	27	11.9%	10.9%
	厚別区	10	12	22	9.7%	6.3%
	豊平区	11	16	27	11.9%	11.6%
	清田区	7	8	15	6.6%	5.6%
	南区	8	5	13	5.8%	6.8%
	西区	4	15	19	8.4%	11.2%
	手稲区	10	7	17	7.5%	7.2%
男女計		98	128	226		
申込者に対する割合		43.4%	56.6%			
市の人口に対する割合		46.8%	53.2%			

※市の人口データはR6.7.1時点

【申込者の職業】

	10代 (人)	20代 (人)	30代 (人)	40代 (人)	50代 (人)	60代 (人)	70代 (人)	計 (人)	申込者に 対する割合
大学生	21	39						60	26.5%
会社員・ 公務員	3	6	7	17	19	4	2	58	25.7%
無職	1		2	2	1	7	16	29	12.8%
パート・ アルバイト	1		3	4	5	5	6	24	10.6%
主婦、主夫			1	5	3	9	5	23	10.2%
専門(専修) 学校生	5	4						9	4.0%
自営業			2	1	3			6	2.7%
短大生	5							5	2.2%
高校生								1	0.4%
その他				2	1		2	5	2.2%
無回答			1	1	1	1	2	6	2.7%
計	36	50	16	32	33	26	33	226	

1.未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 申込者について②

- 申込方法は紙とオンラインが約半数ずつであり、若い方はオンライン、高齢の方は紙を選択する傾向が見られた
- 申込理由は「市民会議に興味があるから」が約4割で最も多く、ワークショップへの参加経験は「経験がない」が約8割
- 地域活動への参加経験は、半数以上の方がある(「頻繁に」、「定期的に」、「たまに」、「過去参加したことがある」)と回答
- 地域への愛着は、8割以上の方がある(「とても愛着がある」、「やや愛着がある」と答えた

【申込者の申込方法、申込理由、ワークショップへの参加経験】

申込方法	10代 (人)	20代 (人)	30代 (人)	40代 (人)	50代 (人)	60代 (人)	70代 (人)	計 (人)	割合
紙	11	15	6	15	16	20	29	112	49.6%
オンライン	25	35	10	17	17	6	4	114	50.4%
申込理由									
市民会議に興味がある	8	15	6	13	19	11	14	86	38.1%
謝礼がある	11	9	2	1	4	2	3	32	14.2%
成人式に興味がある	5	7	1	6	4	3	2	28	12.4%
市の行事に参加したい	3	3	3	4	1	2	6	22	9.7%
周囲(家族等)の勧め	1	7	3		3	3	2	19	8.4%
知らない人と意見交換	7	4		3		2	1	17	7.5%
その他	1	5	1	5	2	2	5	21	9.3%
無回答						1			0.4%
WSへの参加経験									
ない	34	44	12	24	29	17	28	188	83.2%
ある	2	6	4	8	4	8	4	36	15.9%
無回答						1	1	2	0.9%

【申込者の地域活動への参加経験、地域への愛着】

地域活動	10代 (人)	20代 (人)	30代 (人)	40代 (人)	50代 (人)	60代 (人)	70代 (人)	計 (人)	割合
参加したことがない	24	25	6	20	13	9	7	104	46.0%
過去参加したことがある	9	17	5	7	13	5	15	71	31.4%
たまに(年1～2回)	1	5	3	2	4	9	5	29	12.8%
頻繁に(月1回以上)	1	1	1	2	1	2	3	11	4.9%
定期的に(2～3月に1回)		2			2	1	3	8	3.5%
無回答	1		1	1				3	1.3%
地域への愛着									
とても愛着がある	12	21	8	13	19	11	16	100	44.2%
やや愛着がある	18	25	4	14	11	11	10	93	41.2%
どちらでもない	5	2	4	4	3	4	7	29	12.8%
愛着がない	1	2		1				4	1.8%

1.未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 参加者について

- ・ 申込者の参加希望日、年代、性別、居住区のほか、辞退率(※2割想定)などを考慮し、100名(各回50名)を決定
- ・ 第1回は市の人口構成の縮図を作るミニ・パブリックス型、第2回は年代毎の人数を一定にするオリジナル型で実施
- ・ 当日は、各回41名の計82名が参加。第1回の60代の欠席が多かったが、そのほかの日程は概ね想定通りに来場

【第1回参加者の性別・年代別の構成】

年代	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合
10代	1	1	2	4.9%
20代	2	3	5	12.2%
30代	3	3	6	14.6%
40代	4	4	8	19.5%
50代	4	4	8	19.5%
60代	3	1	4	9.8%
70代	4	4	8	19.5%
計	21	20	41	

参加者に
対する割合

参加者に
対する割合

【第2回参加者の性別・年代別の構成】

年代	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合
10代	3	3	6	14.6%
20代	3	2	5	12.2%
30代	3	3	6	14.6%
40代	2	4	6	14.6%
50代	4	2	6	14.6%
60代	3	4	7	17.1%
70代	3	2	5	12.2%
計	21	20	41	

【参加者の職業】

職業	第1回(人)	第2回(人)	計(人)	割合
会社員・公務員	14	12	26	31.7%
パート・アルバイト	9	4	13	15.9%
無職	4	7	11	13.4%
大学生	2	7	9	11.0%
主婦、主夫	5	3	8	9.8%
自営業	2	3	5	6.1%
専門(専修)高校生	2	2	4	4.9%
短大生		1	1	1.2%
高校生	1		1	1.2%
その他	1	2	3	3.7%
無回答	1		1	1.2%
計	41	41	82	

【第1回参加者の居住区別の構成】

区	参加者(人)	割合
中央区	5	12.2%
北区	4	9.8%
東区	3	7.3%
白石区	5	12.2%
厚別区	3	7.3%
豊平区	5	12.2%
清田区	4	9.8%
南区	2	4.9%
西区	6	14.6%
手稲区	4	9.8%
計	41	

【第2回参加者の居住区別の構成】

区	参加者(人)	割合
中央区	5	12.2%
北区	3	7.3%
東区	2	4.9%
白石区	5	12.2%
厚別区	7	17.1%
豊平区	3	7.3%
清田区	4	9.8%
南区	5	12.2%
西区	2	4.9%
手稲区	5	12.2%
計	41	

【参加者の成人式への参加経験等】

参加経験等	第1回(人)	第2回(人)	計(人)	割合
成人式への参加				
市外で参加	15	12	27	32.9%
市内で参加	12	13	25	30.5%
不参加	10	7	17	20.7%
これから	4	9	13	15.9%
WSへの参加経験				
ない	32	31	63	76.8%
ある	8	9	17	20.7%
無回答	1	1	2	2.4%
地域活動				
参加したことがない	13	17	30	36.6%
過去に参加したことがある	17	10	27	32.9%
たまに(年1~2回)	7	5	12	14.6%
頻繁に(月1回以上)	1	6	7	8.5%
定期的に(2~3月に1回)	2	2	4	4.9%
無回答	1	1	2	2.4%
地域への愛着				
とても愛着がある	24	22	46	56.1%
やや愛着がある	10	15	25	30.5%
どちらでもない	6	4	10	12.2%
愛着がない	1	1	2	2.4%

1.未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 会議の流れ

- ・ 会議はメインファシリテーターの進行のもと、テーブルファシリテーターが各グループの議論を支援するかたちで実施
- ・ 第1回は年代の異なる7名程度が6グループに分かれて1日議論し、第2回は年代毎に6名程度ずつ7グループに分かれて第1部と第2部の議論を行った後、第3部でいろいろな年代の方を混ぜて議論
- ・ 情報提供は、各論点に沿って、札幌市と各区成人の日行事実委員会(地域の方)から、動画で成人式に関する基礎的な情報や現状、課題などについて説明
- ・ 全体会議は、市職員と地域の方も参加し、テーブルファシリテーターがまとめたグループごとの質問に回答
- ・ 参加者の意識の変容を調査するアンケート調査は、第1回は3回、第2回は4回実施(第2回は年代毎の議論の結果を調査するため、第2部グループ討論の後にも実施)

【第1回のプログラム】

9:30-10:00	調査①、オリエンテーション	
10:00-10:15	自己紹介	
10:15-11:00	情報提供、調査②	
11:00-12:00	第1部 グループ討論	
12:00-13:00	お昼休憩	
13:00-14:00	第2部 グループ討論	
14:00-15:00	全体会議	
15:00-16:00	第3部 グループ討論	
16:00-16:30	発表	
16:30-17:00	調査③、振り返り、結果の発表	
会議終了後	市民会議の運営に関するアンケート	

【第2回のプログラム】

9:30-9:50	調査①、オリエンテーション	
9:50-10:10	自己紹介	
10:15-11:05	情報提供	
11:05-12:00	調査②、第1部 グループ討論	
12:00-13:00	お昼休憩	
13:00-13:30	第2部 グループ討論	
13:30-13:50	発表(2部までの意見)、調査③	
13:50-14:05	休憩	
14:05-15:00	全体会議	
15:00-16:10	第3部 グループ討論(年代混成)	
16:10-16:30	発表	
16:30-17:00	調査④、振り返り、結果の発表	
会議終了後	市民会議の運営に関するアンケート	

【全体会議で出た質問】

(第1回)	
・	ボランティアの募集方法
・	各区の出席率の違い
・	法律上18歳で成人することと、成人式の対象者が20歳であることに関する考え
・	補助金を増やす余地
・	予算と支出の内訳、各区の工夫
(第2回)	
・	白石の会場がカナモトホールである理由
・	各区の出席率の違い、案内が届く時期
・	市としての成人式の意義の捉え方
・	ボランティアの募集方法と業務、予算の内訳
・	ボランティアに若い人が参入する予定
・	青少年育成委員の活動内容
・	各区の会場決定の考え方
・	小中学校区で開催する場合の予算
・	協賛金の集め方
・	札幌ドームの費用
・	法律上18歳で成人することと、成人式の対象者が20歳であることに関する考え

【情報共有資料を事前に読んだか】

- 参加者のうち7割は、事前に資料の内容を全部読んだ上で参加していた

Q. 本日の会議に参加するまでに、郵送で受け取った情報共有資料をご覧になりましたか。あてはまるものに○をつけてください。（数値は％）		
	第1回	第2回
ア.読んでいない	0.0	0.0
イ.半分以下しか読んでいない、目を通した程度	7.3	7.3
ウ.半分程度は読んだ	4.9	12.2
エ.半分以上は読んだ	7.3	7.3
オ.全部読んだ	73.2	73.2
カ.全部読んだうえ、さらに興味を持った項目などについて調べた	0.0	0.0
無回答	7.3	0.0

【情報提供について】

- 資料や当日の情報提供の内容は理解できたと思う方が多かったが、バランスがよかったかは「どちらとも言えない」を選択する方が多かった

Q. 情報提供に関する次の項目について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。 1全くそう思わない、2そうは思わない、3どちらともいえない、4そう思う、5非常にそう思う、0わからない（平均値以外の数値は%）	第1回					第2回								
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①事前送付資料により、会議の目的や内容を理解できた	2.4	2.4	17.1	48.8	29.3	0.0	4.0	0.0	0.0	7.3	53.7	39.0	0.0	4.3
②事前送付資料の内容はわかりやすかった	0.0	4.9	22.0	51.2	22.0	0.0	3.9	0.0	2.4	22.0	46.3	29.3	0.0	4.0
③情報提供では異なる観点から公平にバランスよく取り上げられていた	4.9	7.3	39.0	31.7	14.6	2.4	3.5	0.0	2.4	36.6	31.7	26.8	2.4	3.9
④論点1の札幌市の情報提供の話を理解できた	0.0	0.0	19.5	61.0	19.5	0.0	4.0	2.4	0.0	2.4	61.0	34.1	0.0	4.2
⑤論点2の札幌市の情報提供の話を理解できた	0.0	4.9	19.5	56.1	19.5	0.0	3.9	0.0	2.4	7.3	56.1	34.1	0.0	4.2
⑥論点3の札幌市の情報提供の話を理解できた	0.0	4.9	19.5	56.1	19.5	0.0	3.9	0.0	7.3	0.0	61.0	31.7	0.0	4.2
⑦地域の関係者の情報提供の話を理解できた	2.4	4.9	12.2	48.8	29.3	2.4	4.0	2.4	2.4	7.3	48.8	39.0	0.0	4.2

1. 未来の成人式を考える市議会の開催結果(概要)について | 会議の運営に関するアンケート結果①

【自身の考えをまとめるのに役立ったことについて】

- 「グループ討論」が非常に役に立ったと回答した方が最も多く、「市民会議全体」と答える方も多かった

Q. 今回の会議において、あなた自身の考えをまとめるにあたって、次の項目は役に立ちましたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

1 全く役に立たない、2 役に立たない、3 どちらともいえない、4 役に立った、5 非常に役に立った、0 わからない・意見がない (平均値以外の数値は%)

	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①市民会議全体	0.0	2.4	14.6	53.7	29.3	0.0	4.1	0.0	0.0	7.3	34.1	58.5	0.0	4.5
②情報提供者からの説明	4.9	9.8	9.8	51.2	24.4	0.0	3.8	0.0	2.4	12.2	46.3	39.0	0.0	4.2
③グループ討論	2.4	0.0	12.2	39.0	46.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9	0.0	4.7
④グループ討論以外でのほかの参加者との意見交換	0.0	0.0	24.4	46.3	29.3	0.0	4.0	0.0	2.4	12.2	41.5	41.5	2.4	4.3
⑤全体会議での質疑応答	7.3	14.6	31.7	24.4	22.0	0.0	3.4	0.0	0.0	12.2	56.1	31.7	0.0	4.2
⑥情報共有資料からの情報	0.0	4.9	24.4	48.8	22.0	0.0	3.9	0.0	0.0	9.8	48.8	41.5	0.0	4.3

【グループ討論について】

- テーブルファシリテーターが「全員が討論に参加できる機会を適切に作っていた」、「対立する意見を平等に扱っていた」と思う方が多かった

Q. グループ討論に関する次の項目について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

1 全くそう思わない、2 そうは思わない、3 どちらともいえない、4 そう思う、5 非常にそう思う、0 わからない・意見がない (平均値以外の数値は%)

	第1回					第2回								
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
※※※進行役とあるのは「テーブルファシリテーター」を指す														
①進行役は、発言しやすい雰囲気を作っていた	0.0	2.4	2.4	29.3	65.9	0.0	4.6	0.0	0.0	4.9	36.6	58.5	0.0	4.5
②進行役は、全員が討論に参加できる機会を適切に作っていた	0.0	4.9	2.4	22.0	70.7	0.0	4.6	0.0	0.0	2.4	39.0	58.5	0.0	4.6
③進行役は、賛成・反対対立する意見の両方を平等に扱っていた	2.4	0.0	2.4	29.3	65.9	0.0	4.6	0.0	2.4	0.0	31.7	65.9	0.0	4.6
④進行役は、適切に議論を整理していた	2.4	0.0	4.9	36.6	56.1	0.0	4.4	0.0	2.4	7.3	31.7	58.5	0.0	4.5
⑤私のグループの参加者は、討論にほぼ等しく参加した	0.0	14.6	4.9	29.3	51.2	0.0	4.2	0.0	0.0	4.9	41.5	53.7	0.0	4.5
⑥グループ討論では、論点の重要な側面を話し合うことができた	0.0	0.0	17.1	53.7	26.8	2.4	4.1	2.4	0.0	4.9	46.3	43.9	2.4	4.3
⑦グループ討論で他の参加者が話した事をほぼすべて理解できた	0.0	4.9	17.1	41.5	34.1	2.4	4.1	0.0	2.4	9.8	34.1	51.2	2.4	4.4
⑧グループ討論で自分の意見を述べる十分な機会があった	0.0	2.4	2.4	56.1	36.6	2.4	4.3	0.0	2.4	7.3	29.3	58.5	2.4	4.5
⑨他の参加者は、意見が違っても、私の発言を尊重してくれた	0.0	2.4	2.4	53.7	39.0	2.4	4.3	0.0	0.0	4.9	36.6	56.1	2.4	4.5
⑩議論を独断し他の人の発言でできないようにする人はいなかった	0.0	4.9	9.8	41.5	41.5	2.4	4.2	0.0	0.0	9.8	29.3	56.1	4.9	4.5
⑪私は、自分とは違う立場の人から多くを学んだ	0.0	2.4	9.8	41.5	43.9	2.4	4.3	0.0	2.4	0.0	29.3	65.9	2.4	4.6

1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果（概要）について | 会議の運営に関するアンケート結果②

【オリエンテーション、全体会議、発表、振り返りについて】

- 第1回は「4 そう思う」を付けた方が多く、第2回は他のグループの発表等で理解が深まった、学びがあったと強く思う方が多かった

Q. オリエンテーション、全体会議、発表、振り返りに関する次の項目について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。
1 全くそう思わない、2 そうは思わない、3 どちらともいえない、4 そう思う、5 非常にそう思う、0 わからない・意見がない（平均値以外の数値は%）

	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①オリエンテーションにおいて、会議の目的を理解することができた	0.0	4.9	17.1	48.8	26.8	2.4	4.0	0.0	0.0	4.9	58.5	34.1	2.4	4.3
②全体進行役の進行はスムーズだった	0.0	12.2	12.2	48.8	24.4	2.4	3.9	0.0	2.4	22.0	39.0	34.1	2.4	4.1
③全体会議での全体進行役が発言しやすい雰囲気を作っていた	0.0	0.0	17.1	48.8	29.3	4.9	4.1	0.0	7.3	7.3	43.9	39.0	2.4	4.2
④全体会議での質疑応答のやり取りは、適切なものであった	2.4	12.2	17.1	41.5	24.4	2.4	3.8	0.0	0.0	19.5	41.5	36.6	2.4	4.2
⑤全体会議での他のグループの質疑応答などで理解が深まった	2.4	12.2	14.6	46.3	22.0	2.4	3.8	0.0	2.4	12.2	34.1	48.8	2.4	4.3
⑥各グループの発表の内容を理解することができた	0.0	4.9	9.8	63.4	19.5	2.4	4.0	0.0	2.4	7.3	39.0	48.8	2.4	4.4
⑦他のグループの発表内容を聴くことで、気づきや学びがあった	0.0	7.3	4.9	46.3	39.0	2.4	4.2	0.0	2.4	0.0	46.3	48.8	2.4	4.5
⑧振り返りの時間があったことで、今日の体験を整理できた	0.0	12.2	14.6	43.9	26.8	2.4	3.9	0.0	4.9	17.1	26.8	46.3	4.9	4.2
⑨投票結果について、気づきや学びがあった	0.0	12.2	14.6	46.3	24.4	2.4	3.9	0.0	0.0	14.6	41.5	41.5	2.4	4.3

【今回の会議に関する意見や感想】

- 両日とも、「成人式についてたくさんさんの気づきがあった」、「自分の言いたいことを発言できた」と思った方が多かった

Q. 今回の会議に関する次のような意見や感想に対して、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。
1 全くそう思わない、2 そうは思わない、3 どちらともいえない、4 そう思う、5 非常にそう思う、0 わからない・意見がない（平均値以外の数値は%）

	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①会議に参加して成人式についてたくさんさんの気づきがあった	0.0	0.0	9.8	39.0	46.3	4.9	4.4	0.0	0.0	2.4	34.1	63.4	0.0	4.6
②休憩時間は十分に確保されていた	0.0	4.9	4.9	48.8	36.6	4.9	4.2	2.4	7.3	9.8	39.0	41.5	0.0	4.1
③会議の間、ほとんどの時間で集中力を維持することができた	0.0	17.1	2.4	43.9	31.7	4.9	3.9	0.0	7.3	17.1	39.0	36.6	0.0	4.0
④自分の言いたいことを発言することができた	0.0	2.4	7.3	53.7	31.7	4.9	4.2	0.0	2.4	0.0	39.0	58.5	0.0	4.5
⑤市民会議は市民意見を市政に反映するための効果的な方法だと思う	7.3	4.9	17.1	39.0	26.8	4.9	3.8	0.0	0.0	7.3	41.5	51.2	0.0	4.4

1. 未来の成人式を考えるを考える市民会議の開催結果(概要)について | 会議の運営に関するアンケート結果③

【会議全般について】

Q. 次の項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。(平均値以外の数値は%)

	第1回						第2回							
	1 非常に 少ない	2	3 適切	4	5 非常に 多い	6 謝金は 不要	平均値 ※6除く	1 非常に 少ない	2	3 適切	4	5 非常に 多い	6 謝金は 不要	平均値 ※6除く
①謝金(10,000円)の金額についてのお考えを教えてください	2.4	7.3	61.0	14.6	9.8	4.9	3.2	0.0	7.3	82.9	2.4	0.0	7.3	2.9
②今回の会議の時間の長さについてのお考えを教えてください	1 とても 短かい	2	3 ちょうど よい	4	5 とても 長い	無回答	平均値	1 とても 短かい	2	3 ちょうど よい	4	5 とても 長い	無回答	平均値
③あなたは普段市政に対して意見を言うことはありますか	0.0	2.4	36.6	41.5	14.6	4.9	3.7	0.0	9.8	43.9	43.9	2.4	0.0	3.4
④今回の会議をきっかけに、今後札幌が抱える課題の解決に向けて自分も意見を言うてみたいと思いますか	1 言いたく ない	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 頻繁に 言っ てい る	無回答	平均値	1 全く言っ たことが ない	2	3 どちらと も言え ない	4	5 頻繁に 言っ てい る	無回答	平均値
	56.1	29.3	4.9	4.9	0.0	4.9	1.6	53.7	17.1	19.5	9.8	0.0	0.0	1.9
⑤今回の会議の開催前と開催後で成人式に関するご自身の考えに変化はありましたか	1 全くな かった	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 大いに あつた	無回答	平均値	1 全くな かった	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 大いに あつた	無回答	平均値
	4.9	4.9	36.6	34.1	14.6	4.9	3.5	0.0	0.0	26.8	39.0	34.1	0.0	4.1
⑦今回の会議の満足度を教えてください	1 全く満 足してい ない	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 非常に 満足し てい る	無回答	平均値	1 全く満 足してい ない	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 非常に 満足し てい る	無回答	平均値
	2.4	7.3	7.3	53.7	24.4	4.9	3.9	2.4	4.9	9.8	41.5	41.5	0.0	4.1
⑧今回のような会議に参加する機会があれば、また参加したいと思いますか	1 もう参 加したく ない	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 ぜひ参 加した い	無回答	平均値	1 もう参 加したく ない	2	3 どちらと もいえ ない	4	5 ぜひ参 加した い	無回答	平均値
	2.4	2.4	4.9	53.7	31.7	4.9	4.2	0.0	2.4	7.3	22.0	63.4	4.9	4.5
⑥ ⑤でご自身の考えに変化があった、大いにあったと答えた方に伺います。ご自身の考えが変化した1番の要因は何だと思えますか	2.4	2.4	14.6	48.8	26.8	4.9	4.0	0.0	2.4	2.4	34.1	56.1	4.9	4.5
	第1回						第2回							
	ア.会議全体							21.9						23.5
	イ.情報提供の説明							12.5						8.8
	ウ.グループ討論							37.5						52.9
	エ.討論外での意見交換							9.4						5.9
	オ.全体会議での質疑応答							0.0						0.0
カ.情報共有資料からの情報	9.4							9.4						0.0
	キ.特になし							0.0						0.0
	無回答							9.4						8.8

【P10の「会議全般について」の回答の傾向】

- ・ 両日とも、「謝金(1万円)の額」は「適切」(5段階評価で3)と回答した方が最も多い(第1回は61.0%、第2回は82.9%)
- ・ 両日とも、「普段市政に対して全く意見を言ったことがない」と回答した方が最も多い(第1回は56.1%、第2回は53.7%)
- ・ 第2回は、「今回の会議をきっかけに、今後札幌が抱える課題の解決に向けて自分も意見を言ってみたい」と思った方(5段階評価で4～5)が73.1%(第1回は48.7%)
- ・ 両日とも、「今回の会議の開催前と開催後で成人式に関するご自身の考えに変化があった」と思った方(5段階評価で4～5)が8割程度(第1回は78.1%、第2回は83.0%)
- ・ 両日とも、「今回の会議に満足している」と思った方(5段階評価で4～5)が85.4%
- ・ 「今回のような会議があればまた参加したい」と思った方(5段階評価で4～5)は第1回は75.6%、第2回は90.2%

【参加者の自由意見から一部抜粋】

- ・ もっと同年代の意見も聞きたかった。(10代女性・第1回)
- ・ この市民会議の意見が札幌市に届くのか不安に思う。よりよい方向に進んでほしいと思いました。(20代女性・第1回)
- ・ この様な機会がなければ市民として考えることも意見することにもなかつたので良い機会になりました。(30代男性・第1回)
- ・ 何かよくわからない中で終わってしまいました。(60代男性・第1回)
- ・ 自分が来年参加する式についてどのような人が関わっているのかというように企画されているのがよくわかった。他の年代の方との意見交換がためになった。(10代女性・第2回)
- ・ 様々な年代の意見を聞くことができて楽しかった。初回の討論が年代別だったので話しやすかった。(20代女性・第2回)

【ファシリテーターへのアンケート結果から一部抜粋(特に1日目と2日目を比較する意見を抽出)】

- ・ 2日目の1部と2部は同年代同士でディスカッションを行い、3部は各年代混合でディスカッションでしたが各年代の方々が相互に刺激し合えていたように思います。
- ・ 年代ごとでまとまった方が、スムーズに意見交換ができていたように思います。
- ・ 2つのグループを体験でき、意見交換することは意味があったと考えるが、長時間すぎて、疲労度も高かったような印象を受けた。また、自分の同じ意見を繰り返すことにもなり、2回目のグループ移動の効果はあまり感じられなかった。後半は各グループで出た意見をもとに、それぞれのグループの意見を出し合うほうがまとまりがついたのではないか。
- ・ せっかく2日目が年代別としていたのに、最後までグループ分けせずに進めても良かったのではないのでしょうか？